

優勝し、チームの代表を務める阿部敏光選手を胴上げして喜ぶ55 JAPANナイン



55 JAPAN サヨナラ初V

第44回
淀川河川公園
秋季野球大会
10日

延長十一回に

55 JAPAN(ゴーゴージャパン)が延長十一回、なにわヤンキースを

主催 淀川河川公園
共催 サンケイスポーツ、産経新聞社
協力 内外ゴム、ゼツト、オリックス・バファローズ

◇決勝(10日、大日第1球場)
なにわヤンキース
0000000003003
0000001110001X4
55 JAPAN

4-3のサヨナラで破り、初優勝を果たした。タイブレークに突入した十回から登板していた山田裕司投手(32)＝内内＝が一死満塁から死球を受け、押し出しで決着し

た。先発して9回3失点11奪三振と好投した松尾孝治投手(25)が最優秀選手賞に輝いた。

◇

延長11回の死闘は「痛い、幕切れだった。タイブレークは一死満塁からスタート。打席に入った山田裕への5球目が右肘を直撃。苦い笑顔をつくりながら、歓喜

山田裕痛くてうれしい死球

の輪に加わった。

「ラッキーだった。最初は『痛っ』と思ったけど、『そういえば満塁だな...』と」

先発・松尾が九回二死まで無安打無失点、11奪三振と好投し、3-0とリードしていたが、あとストライク1つから連打を許し、7番・竹中

にまさかの同点3ランを浴びた。嫌な雰囲気のまま試合はタイブレークの延長に突入。ここでマウンドに上がったのが山田裕だった。

「松尾がよかったので、ここで点は取られていられないと思った」

「長打警戒。最悪、四球ならOK」の心構えで打者に向かい、2度の一死満塁をしっかりと抑えた。

「55 JAPAN」は山田新也選手兼監督(37)をはじめ、昭和55年

なにわヤンキース 竹中千金弾も...

①...惜しくも敗れた「なにわヤンキース」で、大きな見せ場をつけたのが、敢闘選手賞を

受賞した竹中康造内野手(32)だ。0-3の九回二死一、二塁から左中間へ同点弾を放った。「打てるとは思ってたなかった。いいところで打てた」。

チームは今年から各自での素振り練習も敢行しているという。「来年も引き続きトレーニングして上を目指したい」とリベンジを誓った。

の知人同士で約8年前に結成された。そのチームも現在は若返りのまっただ中だ。指揮官は「ベテランの知恵と若手の力がある」と胸を張るのは32歳

「ゲームをつくれるピッチャーはたくさんいる」と胸を張るのは32歳

の中堅組の山田裕。さらに技を磨き、期待のかかる連覇へ突き進んでいく。

【55 JAPAN】

【なにわヤンキース】

【55 JAPAN】	打	安	点	【なにわヤンキース】	打	安	点
436楠	5	1	0	9中	5	0	0
6野村	3	1	0	41杉	3	0	0
9大西	0	0	0	7玉	4	0	0
93高	3	0	0	5横	1	1	0
37高	0	3	0	2成	4	1	0
8大山	4	0	1	3竹	3	4	0
735山	5	0	1	6松	4	4	0
54野	0	4	0	8荒	2	2	0
2西北	4	0	1	1飛	4	1	0
R2松	0	1	0				
1山	0	1	0				
計	37	11	4	計	33	3	3
投回安責	521100	1100	0300	投回安責	3333	0000	0300
荒南飛南	11	1	0	山葉沢葉	11	1	0
松山	91	1	0	尾裕	11	1	0
な振ゴ	12500	000	10	山葉沢葉	11	1	0
本壘打二竹中	1111	000	18	山葉沢葉	11	1	0
(な)本(ゴ)打	1111	000	18	山葉沢葉	11	1	0
失策一な	1111	000	18	山葉沢葉	11	1	0

(須藤佳裕)